

笹島 一臣(平三小)

小野 捷(川俣小)

佐藤 善昭(日和田小)

飛知和昭一(西白河、釜子小)

※八巻 裕子(福島三小)

横山美智子(平二小)

加藤 玲子(白河三小)

長谷川玲子(若松市謹教小)

吉田 淳子(安達郡、西新殿小)

中央推せん者のうち、大浦小学校は全日本健康優良学校特選に、箱崎伸太郎は全日本健康優良児童特選として全国小学校十指の中に入り表彰されたことは喜びにたえない。

### 五、第五回福島県学校保健研究大会の開催について

本年度の研究目標として、東北地方に多い寄生虫、トラホーム問題に重点をおいて各方面から検討した。本大会も五度目をむかえ、会の運営、参加者の研究態度は著しく充実、向上してきている。また、学校長はじめ一般教職員の参加が漸次増加してきつづあることは、学校保健推進上誠に喜ばしい。

なお本大会の反省の一としては、参加者は五百名をこえたにかかわらず、学校医、学校歯科医、PTAの参加が非常に少なかったことで、これについてはこんご十分研究し、関心をたかめて行きたい。

また、この大会において健康優良学校、児童の表彰並びに全国学校保健大会

において文部大臣表彰を受けた瀬上小学校々医鈴木主計氏の紹介が行われた。主催 福島県教育委員会事務局 白河市教育委員会

財団法人福島県学校給食会 福島県学校保健協会

期日 十一月九日、十日 会場 白河市立白河第三小学校

第一日	8.40	受付	9.00	第二日	9.00
公開研究会式	9.20	班別研究の	10.20	受付	10.30
発表式	9.30	結果発表	10.30	班別研究の	10.30
講演	10.00	休憩	12.15	結果発表	12.15
休憩	11.00	講演		休憩	
研究発表	11.10			講演	
昼食	12.15				
班別研究	1.00				
	4.30				

#### 特別講演

- 学校保健の諸問題 東京大学々芸学部教授 重田 定正
- 健康指導の考え方 福島大学々芸学部教授 須藤 春一
- 班別研究協議題

- 第一班 学校における各種保健部会はトラホーム撲滅のための具体策をどのようにすればよいか。
- 第二班 学校における各種保健部会は寄生虫対策をどうすればよいか。
- 第三班 寄生虫症やトラホームをなくするために環境の整備をどうすればよいか。
- 第四班 寄生虫症やトラホームをなくするための健康学習をどうすればよいか。

○第五班 寄生虫症やトラホームをなくするための健康指導をどのようにすればよいか。

○第六班 中学校における保健学習を効果的にするにはどうすればよいか

○第七班 高等学校における保健学習を効果的にするにはどうすればよいか。

○第八班 学校給食における運営並びに管理を適切にするにはどうすればよいか。

### 六、通達による指導の主なものについて

- 1 中学校保健体育科のうち保健の学習の指導について(31・4・13)
- 2 学校身体検査の実施の徹底について(31・5・2)
- 3 児童生徒の災害補償事業を行う団体について(31・8・1)
- 4 第四回精神衛生普及運動の実現について(31・11・15)

## 第二節 学校体育はどのようにして振興充実をはかったか

昭和二十九年には小学校学習指導要領が改訂され、本年度はさらに高等学校が改訂、実施されるはこびとなったので、学校体育としてはその趣旨の徹底を期するため、次の努力事項をかかけて振興充実をはかってきた。

5 覚えい刮福撲滅強調月間運動の実施について(31・11・15)

### 七、福島県学校保健協会の事業について

1 健康安全に関する同一テーマによる共同研究の実施について 本県内の小・中学校が一せいに昭和三十一年四月一日から昭和三十三年三月三十一日まで学校でおこった傷害、疾病について調査を行い、本県独自の資料を作製せんとするものである。文部省の調査が、医師の治療をうけた者のみに限っているのに対し、学校職員において処理した外傷、在校中に発病した疾病等広範囲にわたっている。完成は三十二年度半ばの予定であるが、十分期待してよいと思う。

- 2 その他養護教員認定講習会の開催をはじめ、県と共催にて各種保健関係講習会を開催している。

- 1 学習指導法の改善
- 2 安全教育の指導強化 前者については、各種講習会の開催並びに研究指定校の設置により、問題解決の道を進め、後者については、集団行動の指導について、水泳における安全指